

長野県 JAながの

農業者の所得増大・農業生産の拡大

入札式の中古農機販売会が好評 安価に購入でき農家の所得向上・生産拡大に貢献

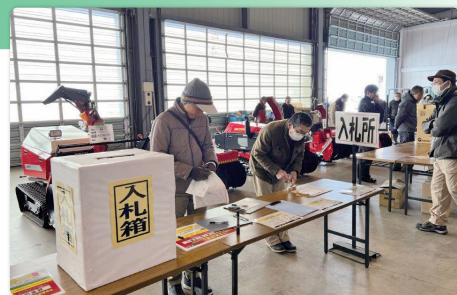
※シンカは、以下の3つの意味を含めた言葉。

自己改革の進化から深化へ、真価を発揮する
3つの「シンカ」



組合員の「なるべく安く買いたい」の声を受け開催

JAながのは、入札方式の中古農機販売会を2022年度から開催しています。来場者が希望する農機を選び、購入価格を記入して入札箱へ投函すると、後日、JAの農業機械センターから落札者へ連絡がいく仕組みです。原材料や物流費の高騰による値上がりに加え、新品の一部機種では半導体不足による納期の遅延が発生していたことを受け、「なるべく安く、春作業に向けてすぐ使える機械が欲しい」という組合員の声に応じて開催。所得向上・生産拡大につながるなど大変好評です。

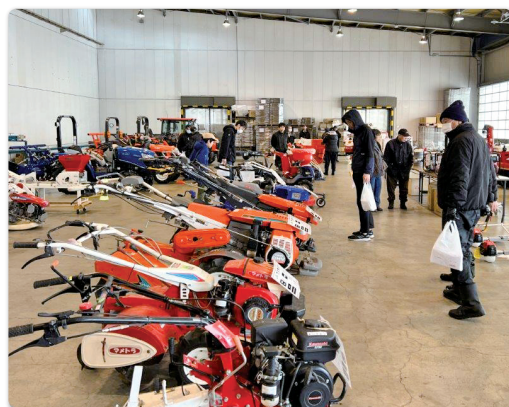
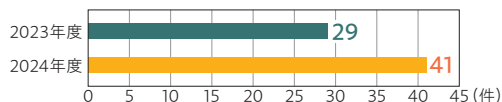


欲しい中古農機の入札に参加する組合員

旺盛な需要から24年度の入札数は前年度を上回る

24年度は、3年連続となる3回目を2025年2月に開催しました。会場には、トラクターやコンバイン、田植え機、スピードスプレーヤー、管理機など中古農機30台に加え、値上げの前に仕入れた“掘り出し物”のトラクターや管理機など合わせて50台を展示。来場者がさまざまな農機を検討できるよう、JAは中古農機の台数確保に努めました。来場者数は92人、入札数は前年度を上回る41件でした。中古農機を通常より安く買えることもあり、組合員からは好評です。JAは「中古農機の確保は大変だが、入札数も増えてきており手応えを感じている」と話します。

中古農機販売会の入札数



さまざまな中古農機が並ぶ24年度の中古農機販売会

1年かけて中古農機の台数確保に努める

引き続き、25年度も開催を予定しています。組合員の中古農機の需要が旺盛のため、JAでは1年をかけて地道に農機の下取り・修理を進めるほか、JA全農とも協力して中古農機の業者に声かけを進め、展示する中古農機の台数確保に努める考えです。

JAは「次の開催までにより多くの中古農機を確保し、組合員の要望に応えたい」と意気込みます。

組合員の声



入札式のため、早いもの勝ちではなく、ゆっくり農機を吟味できていい。



農機の価格が高騰し、なかなか買い替えができない。中古農機を探せる機会ありがたい。

問い合わせ JA全中 JA組織・経営対策部 JA改革支援課 ☎03-6665-6040 ✉jakaikaku.s@zenchu-ja.or.jp

JAグループのホームページから、自己改革の成果をまとめた動画や全国のJAの取り組みがご覧になれます。

<https://org.ja-group.jp/challenge/>

発行／JA全中（一般社団法人 全国農業協同組合中央会）



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。